

I 第1回子どもの読書活動推進研修会が開かれるまで

- 1 2003年7月26日 別府大学300番教室で開かれた朝比奈大作氏（横浜市立大学教授）の講演会「学校図書館の新たな創造に向けて」には、学校図書館でボランティア活動をしている人を中心に50名余りが参加した。「ぜひこのような会を開いて、学校図書館に関わる多くの人に参加してもらい、子どもと読書、子どもと図書館、読書活動の推進のしかたなどについて学ぶ機会にしたい」という声が強く出された。
- 2 この要望を受けて、別府大学司書課程では2004年7月にこの会を開催する方向で検討を始めた。
 - ①子どもの読書推進に関わっている司書教諭、学校司書、学校図書館ボランティア、公立図書館員、PTA、生涯学習担当者（行政）など幅広い人たちに呼びかける。
 - ②別府大学が主催し、大分県教育委員会、大分県学校図書館協議会等の後援を受けて多くの人が参加しやすいようにする。
 - ③研修については、第一、図書館で実際読み聞かせやブックトークなどを行っている人に実技の入門を語ってもらう。第二、公立図書館は子どもの読書推進にどのように取り組んでいるか、図書館の実践報告をしてもらう。第三、大分県の学校図書館の現状と課題について報告してもらう。第四、専門家に子どもと本、学校図書館の役割、読書活動推進の視点などについて、講演してもらう。
 - ④大分県立図書館、挾間町立図書館、大分県学校図書館協議会と協議し、人選してもらうことにした。講演については数名の名前が挙がったが、昨年に引き続き朝比奈氏をお願いすることに。
- 3 3月12日 大分県学校図書館協議会（事務局・大分市立判田中学校）事務局長伊藤裕治教諭に、電話で研修会について話し、「いっしょにやりましょう」の返事をもらう。
 - 3月18日 佐藤、得松が判田中学校を訪ね、伊藤事務局長に別府大学の考えを正式に伝えた。会の成功へ向けて前向きな意見交換ができ、「協議会に諮り、会として全面的に協力いたします」ということに。
伊藤氏に会った後、挾間町立図書館、大分県立図書館を訪ね、協力を要請した。いずれも好意的だった。
 - 3月30日 大分県教育委員会生涯学習課（秦さん）、学校教育課（吉村さん）に会い、後援申請の手続き方法等を聞き、申込用紙をもらう。
 - 4月20日 大分県教育委員会に後援申請。
 - 5月6日 大分県教育委員会から「後援承諾」の連絡あり。
 - 5月24日 大分県学校図書館協議会代表者会（於豊泉荘約100名出席）の講演会で本研修会のPR。
 - 5月25日 講師依頼、講師派遣申請の文書を発送。
 - 6月7日 伊藤事務局長に各学校への案内状を手渡し、配布のお願いをする。
 - 6月10日 大分合同新聞別府支社、大分県教育委員会、挾間町立図書館、大分県立図書館を訪ね、協力を要請。
 - 6月12日～案内状郵送。
 - 6月25日 研修資料（冊子）の作成、会の進め方、アンケートなどについて協議。
 - 7月5日 研修会実施について役割分担などを協議。印刷所との打ち合わせ。

